

2025年度入学者選抜の実施内容について【まとめ(3月29日更新)】

2025年度入学者選抜の実施内容について、これまでに公表した内容を下記のとおり取りまとめました。

なお、内容については今後変更する場合があります。正式な内容は2024年度に本学ウェブサイトで公表する「入学者選抜要項」、「学生募集要項」で必ず確認してください。

1 アドミッション・ポリシー

2025年度入学者選抜のアドミッション・ポリシーは別紙のとおりです。

2 一般選抜

各学部・学科が利用する大学入学共通テストの利用教科・科目名と個別学力検査等は次のとおりです。

(1) 国際学部

ア 実施教科・科目、配点

学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	情報	外国語	総合問題	小論文	合計	配点合計
国際学科	前期	国語	『国語』	その他	総合問題	大学入学共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	200			600	1000
		地歴公民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合/歴史総合/公共』													
	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』											400		400	
	後期	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』		その他	小論文	大学入学共通テスト	100	*100	*100	*100	*100	200			400
情報	『情報Ⅰ』															
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1 〔3教科3科目〕											200	200	

(備考)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

地理歴史、公民、数学、理科及び情報において、2科目以上を受験している場合は、高得点の科目を合否判定に利用します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄

① 配点に*を付してある教科は、選択教科を表します。

② 大学入学共通テストの得点は、表に示す配点を満点として換算し、利用します。

③ 外国語『英語』の得点は、大学入試センターから提供されるマークシート式の点数(リーディング100点満点、リスニング100点満点)を、リーディングは1.6倍(160点満点)、リスニングは0.4倍(40点満点)した合計200点を満点とします。ただし、リスニングを免除された者については、リーディング(100点満点)を200点満点に換算します。

イ 個別学力検査等の内容

試験日程	科目名等	試験内容等	試験時間
前期日程	総合問題	日本語と英語による出題	120分
後期日程	小論文	日本語による出題とし、記述を中心とした問題	90分

(2) 情報科学部

ア 実施教科・科目、配点

学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点						
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	数学	理科	情報	外国語	配点合計	
情報工学科・知能工学科・システム工学科・医用情報科学科	前期	数学	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』	数学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C	大学入学共通テスト	200	200	200	200	800	
		理科	『物理』，『化学』，『生物』から1			個別学力検査等	400					400
		情報	『情報Ⅰ』									
	外国語	『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1 〔4教科5科目〕	計	600	200	200	200	1200				
	後期	数学	『数学Ⅰ，数学A』と『数学Ⅱ，数学B，数学C』	情報	情報Ⅰ	大学入学共通テスト	200		200	200	600	
		情報	『情報Ⅰ』			個別学力検査等				300	300	
外国語		『英語』，『ドイツ語』，『フランス語』，『中国語』，『韓国語』から1 〔3教科4科目〕	計									200

(備考)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

理科の選択科目について、指定した科目数以上を受験しているときは、高得点の科目を合否判定に利用します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄

①大学入学共通テストの得点は、表に示す配点を満点として換算し、利用します。

②外国語『英語』の得点は、大学入試センターから提供されるマークシート式の点数（リーディング100点満点，リスニング100点満点）を，リーディングは1.6倍（160点満点），リスニングは0.4倍（40点満点）した合計200点を満点とします。ただし，リスニングを免除された者については，リーディング（100点満点）を200点満点に換算します。

イ 個別学力検査等の内容及び出題範囲

試験日程	教科等	試験内容等	試験時間
前期日程	数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲは全範囲から出題します。数学Aは「図形の性質」，「場合の数と確率」，数学Bは「数列」，数学Cは「ベクトル」，「平面上の曲線と複素数平面」の範囲から出題します。	120分
後期日程	情 報	情報Ⅰの全範囲（「情報社会の問題解決」，「コミュニケーションと情報デザイン」，「コンピュータとプログラミング」，「情報通信ネットワークとデータの活用」）から出題します。ただし，「コミュニケーションと情報デザイン」については「情報のデジタル化」の範囲から出題します。	90分

(3) 芸術学部

ア 実施教科・科目、配点

学科等	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点										
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	情報	外国語	実技検査 ① ②		合計	配点 合計
美術学科	前期	国語	『国語』	その他	実技検査 ①鉛筆素描 ②着彩写生	大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	200			600	1800
						個別学力検査等								450	750	
						油絵専攻	地歴 公民	『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』、 『地理総合/歴史総合/公共』	その他	実技検査 ①素描 ②油彩	大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200
	個別学力検査等													600	600	1200
	彫刻専攻	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	その他	実技検査 ①素描 ②塑造						大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200
						個別学力検査等								600	600	1200
デザイン 工芸学科						後期	理科	『物理基礎/化学基礎/ 生物基礎/地学基礎』、 『物理』、『化学』、 『生物』、『地学』	その他	実技検査 ①感覚考査 (描出)	大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200
	個別学力検査等													1200		1200
	前期	情報	『情報Ⅰ』	その他	実技検査 ①感覚考査 (色彩) 又は 感覚考査 (形体)						大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200
個別学力検査等													1200		1200	
後期						外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス 語』、『中国語』、『韓国語』から1 〔3教科3科目〕	その他	実技検査 ①感覚考査 (色彩) 又は 感覚考査 (形体)	大学入学 共通テスト	200	*200	*200	*200	*200	200
	個別学力検査等												1200		1200	

(備考)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

地理歴史、公民、数学、理科及び情報において、2科目以上を受験している場合は、高得点の科目を合否判定に利用します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点】欄

①配点に*を付してある教科は、選択教科を表します。

②大学入学共通テストの得点は、表に示す配点を満点として換算し、利用します。

③外国語『英語』の得点は、大学入試センターから提供されるマークシート式の点数（リーディング100点満点、リスニング100点満点）を、リーディングは1.6倍（160点満点）、リスニングは0.4倍（40点満点）した合計200点を満点とします。ただし、リスニングを免除された者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算します。

イ 個別学力検査等の内容

学科等	試験日程	科目名等	試験内容等	試験時間
美術学科 日本画専攻	前期日程	実技検査	①鉛筆素描	7時間（1日目）
			②着彩写生	12時間（2日目・3日目）
美術学科 油絵専攻	前期日程	実技検査	①素描 「木炭のみによるデッサン」又は「木炭と鉛筆の併用によるデッサン」とします。出願時に選択する必要はありません。いずれの場合も用紙は木炭紙です。	7時間（1日目）
			②油彩	12時間（2日目・3日目）
美術学科 彫刻専攻	後期日程	実技検査	①素描 「木炭によるデッサン（用紙は木炭紙）」又は「鉛筆によるデッサン（用紙は画用紙）」のいずれかを、志願者が出願時に選択します。出願後の変更はできません。	7時間（1日目）
			②塑造	7時間（2日目）

学科等	試験日程	科目名等	試験内容等	試験時間
デザイン 工芸学科	前期日程	実技検査	①感覚考査(描出)	7時間 (1日)
	後期日程		①感覚考査(色彩又は形体) 「感覚考査(色彩)」又は「感覚考査(形体)」のいずれかを、志願者が出願時に選択します。出願後の変更はできません。	7時間 (1日)

3 学校推薦型選抜(国際学部, 情報科学部)の実施内容等について

変更はありません。
なお、芸術学部は募集していません。

4 総合型選抜の実施内容等について

- (1) 国際学部, 芸術学部
変更はありません。
- (2) 情報科学部
次のとおり変更します。

【総合型選抜(情報科学部)の選抜方法】

出願時に提出された「活動報告書」, 「志願理由書」により1次選考を行います。「その他の書類(資格・受賞歴等目録*任意提出)」については参考資料とします。2次選考では、「面接」及び「口頭試問」を実施します。

① 1次選考について

配点は活動報告書50点, 志願理由書50点です。
情報工学・情報科学に関する学修や活動*についてアドミッション・ポリシーに基づき, 「関心・意欲」「主体性・協働性」を重点的に評価し, 選考します。
2次選考対象者は募集人員の2倍程度の範囲内とします。

※ 情報工学・情報科学に関する学修や活動《例》

- ・本学で実施する「高校生による情報科学自由研究」への参加, 取組
- ・本学で実施するオープンキャンパスの模擬授業への参加
- ・本学または他大学が実施する講座や高大接続事業への参加, 取組
- ・高等学校での「総合的な探究の時間」における取組
- ・情報科学に関する活動(数学に関する研究, アルゴリズム・プログラムの作成など)

② 2次選考について

面接及び口頭試問の結果を総合して選考します。配点は面接100点, 口頭試問100点です。
面接と口頭試問の時間は合わせて30分程度です。面接時のプレゼンテーション時間も含まれます。

1次選考の点数は, 2次選考に加算しません。
2次選考の実施内容及び評価の視点は以下のとおりです。

選抜方法	実施内容及び評価の視点
面接	プレゼンテーションと質疑応答を含む個人面接です。プレゼンテーションの内容と出願書類(活動報告書, 志願理由書, その他の書類)を参考にし, 複数の面接者が質問します。 プレゼンテーションでは, これまでの学びや頑張りについて, 大学でそれをどのように向上・発展させたいか, そして将来それをどのように役立てたいかなどをプレゼンテーション・ツール(Microsoft® PowerPoint® や PDF など)を使って7分程度で説明してください。 プレゼンテーションの内容と質問に対する回答について, アドミッション・ポリシーに基づき, 「関心・意欲」「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を重点的に評価します。

選抜方法	実施内容及び評価の視点
口頭試問	面接時のプレゼンテーションで述べられた、情報工学・情報科学に関連する話題やキーワードについて口頭試問を行います。口頭試問は面接と同時にいきます。口頭試問で得られた解答について、アドミッション・ポリシーに基づき、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を重点的に評価します。

5 旧課程履修者に対する経過措置について

2025年度入学者選抜における、新教育課程（平成30年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程のことをいう。）を履修していない、旧教育課程履修者等の入学志願者に対する経過措置は、次のとおりとします。

なお、この経過措置は2025年度入学者選抜に限るものとします。

【大学入学共通テスト】

旧教育課程履修者等は、旧教育課程による出題科目を選択することができます。

新教育課程による出題科目と旧教育課程による出題科目は下表のとおりとし、旧教育課程履修者等が受験を要する科目数については、一般選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目数に準じます。

<国際学部，芸術学部>

教科・グループ	新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目
地理歴史	『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『公共，倫理』 『公共，政治・経済』 『地理総合／歴史総合／公共』	『旧世界史A』 『旧世界史B』 『旧日本史A』 『旧日本史B』 『旧地理A』 『旧地理B』 『旧現代社会』
公民		『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理，旧政治・経済』
数学①	『数学Ⅰ，数学A』 『数学Ⅰ』	『旧数学Ⅰ・旧数学A』 『旧数学Ⅰ』
数学②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』	『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧数学Ⅱ』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』
情報	『情報Ⅰ』	『旧情報』

備考 数学②の『旧簿記・会計』及び『旧情報関係基礎』の科目を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

<情報科学部>

教科・グループ	新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目
数学①	『数学Ⅰ，数学A』	『旧数学Ⅰ・旧数学A』
数学②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』	『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』 『旧情報関係基礎』
情報	『情報Ⅰ』	『旧情報』

備考 数学②の『旧簿記・会計』及び『旧情報関係基礎』の科目を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校で当該科目を履修した者並びに文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者に限ります。

【個別学力検査】

旧教育課程履修者等で一般選抜において情報科学部を志願する者への経過措置は次のとおりです。

<情報科学部>

試験日程	教科	経過措置の内容	試験時間 (配点)
		出題方法等 (出題範囲, 教科「科目」, 選択等)	
前期日程	数学	経過措置は講じません。 内容等は「2 ページ イ 個別学力検査等の内容及び出題範囲」 をご覧ください。	120 分 (400 点)
後期日程	情報	経過措置を講じます。 新教育課程による「情報Ⅰ」または旧教育課程に対応した 「旧情報」のいずれかを選択して解答することができます。 出願時に選択してください。出願後の変更はできません。	90 分 (300 点)
		「旧情報」の出題範囲は、旧教育課程の「社会と情報」及び 「情報の科学」の内容とします。 「社会と情報」と「情報の科学」の共通部分に対応した必答 問題, 及び「社会と情報」と「情報の科学」のそれぞれに対 応した選択問題を出題します。	

なお, 上記以外の経過措置は講じません。

【その他】

新教育課程履修者, 旧教育課程履修者等の定義は以下のとおりです。

新教育課程履修者	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和 4 年 4 月 に入学し, 平成 30 年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び, 令和 7 年 3 月に卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和 4 年 4 月に進級し, 平成 30 年告示学 習指導要領に基づく教育課程の下で学び, 令和 7 年 3 月卒業見込みの者
旧教育課程履修者等	上記以外の者 * 高等学校等卒業者, 高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込 者, 大学入学資格検定合格者, 高等専門学校第 3 学年修了者又は修了見 込者, 高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。） 修了者又は修了見込者, 外国の学校等修了者又は修了見込者, 在外教 育施設修了者又は修了見込者, 及び高等学校等を令和 7 年 3 月卒業見込 みであるが入学は令和 4 年 3 月以前の者など上記に該当しない者

※ 「新教育課程」とは, 令和 4 年 4 月 1 日から施行された新しい高等学校学習指導要領（平成 30 年文部科学省告示第 68 号）に基づく教育課程をいい, 「旧教育課程」とは, 平成 21 年 3 月に告示された高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいいます。

(1) 国際学部

国際学部アドミッション・ポリシー

複雑化する国際社会及び地域社会においては、単一の学問分野のみならず、領域を超えた幅広いアプローチから課題の解決に取り組むことが必要です。

国際学部では、豊かな学識と幅広い視野に基づいて、平和で持続可能な国際社会や地域社会の実現に貢献できる人材の育成を教育理念としています。そのため、国際学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

【求める人物像】

(関心・意欲)

国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持つ人

(知識・技能)

国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人

(思考力・判断力・表現力)

- ・社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人
- ・日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人

(主体性・協働性)

- ・何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人
- ・国際社会や地域社会における人間の営みに関する諸課題の解決に向けて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働する姿勢を持つ人

アドミッション・ポリシー【求める人物像】を踏まえ、各試験区分において、特に求める人物像、重点評価項目、配点

試験区分	一般選抜(75名)				総合型選抜【10月】(5名)				学校推薦型選抜【11月】(市内10名, 全国10名)		外国人留学生選抜【2月】(若干名)							
	前期【2月】(60名)		後期【3月】(15名)		100		200		全体 200		全体 200							
	大学入学共通テスト	総合問題	大学入学共通テスト	小論文	活動報告書	学修計画書	小論文	面接(プレゼンテーションを含む)	小論文	面接	日本語試験	小論文	面接					
アドミッションポリシー内【求める人物像】	現代社会とその課題について基本的な知識と高い関心を持ち、社会の課題に対する考えを論理的に表現できる人				現代社会の課題に深い関心を持ち、その解決へ向けた考えを論理的に表現できる人				国際学部の専門分野を学ぶ意欲を持ち、現代社会の課題に対する問題意識を自分の言葉で説得的に表現できる人				高等学校段階において優れた能力を示し、豊かな経験を有するとともに、これらを国際学部で学ぶのに活かす意欲を明確に表現できる人			本学で学ぶのに必要な日本語能力があり、国際学部の専門分野に積極的に取り組む意欲のある外国人留学生		
	全体 1000		全体 600		1次選考では活動報告書及び学修計画書の内容を審査し、募集人員の2倍程度を目安に2次選考対象者を決定する。				全体 200		全体 200							
	600	400	400	200	50	50	100	100	100	100			100	100				
関心意欲	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎				
知識技能	国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人	○	○	○	○					○	○	○	○					
	外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人	◎	◎	◎	◎					○	○	○	○	○				
思考力判断力表現力	社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人	◎	◎	◎	◎	○		◎	○	○	◎	○	○	○				
	日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人	◎	○	◎	○													
主体性協働性	何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人					◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
	国際社会や地域社会における人間の営みに関する諸課題の解決に向けて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働する姿勢を持つ人					◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎				

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

(2) 情報科学部

情報科学部アドミッション・ポリシー

科学技術の発展による高度情報化社会の到来に伴い、我が国を取り巻く産業・社会構造は年々複雑化し続けています。

情報科学部では、このような複雑化する社会に対応するため、情報工学・情報科学分野の基礎知識・能力及び専門学識・技術を身に付け、高度情報化社会を支える人材の育成を教育理念としています。

そのため、情報科学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

【求める人物像】

【関心・意欲】

情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人

【知識・技能】

情報工学・情報科学を学ぶうえで土台となる高等学校等で修得すべき**情報**、数学、理科及び語学の知識・技能を有している人

【思考力・判断力・表現力】

- ・物事を多面的にとらえ、論理的・合理的に思考して判断することができる人
- ・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人

【主体性・協働性】

- ・情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組む熱意を持っている人
- ・多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組む熱意を持っている人

アドミッション・ポリシー【求める人物像】を踏まえ、各試験区分において、特に求める人物像、重点評価項目、配点

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】	試験 区分	一般選抜 (155名)				総合型選抜 【10月】 (5名)	学校推薦型選抜 【11月】 (市内25名, 全国25名)		外国人留学生選抜 【2月】 (若干名)																		
		前期 【2月】 (120名)		後期 【3月】 (35名)			1次選考		2次選考																		
		大学入学 共通テスト	数学	大学入学 共通テスト	情報		志願 理由書	活動 報告書	面接 (プレゼン テーション)	口頭 試問	総合 問題	面接・ 出願書類 (志願理由 書, 活動 報告書)	日本 留学 試験	数学	面接												
特に 求める 人物 像	細目	幅広分野の基礎知識を備え、数学の総合的な知識・技能を持つ人。論理的に思考し、説明できる人				情報科学の土台となる基礎知識・技能を持ち、それらを課題解決に活用できる人。論理的に思考し、説明できる人	情報科学に深い関心があり、積極的に学ぶ意欲を持ち、新しい情報科学技術を創造したい人。数学またはプログラミングの知識・技能に自信のある人		情報科学に関心・学修する意欲を持ち、学んだことを活用して社会の課題解決に貢献する熱意がある人。そのために、他人と協調して主体的に活動できる人		情報科学を学ぶのに必要な日本語能力と数学・理科・語学の基礎的な知識・技能を持つ人。情報科学を学修する意欲のある外国人留学生																
		全体 1200		全体 900			1次選考では活動報告書及び学修計画書の内容を審査し、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。		全体 400		全体 1100																
		800		400		600		300		50		50		100		100		200		200		400		400		300	
関心 意欲	情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つ人	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
知識 技能	情報工学・情報科学を学ぶうえで土台となる高等学校等で修得すべき 情報 、数学、理科及び語学の知識・技能を有している人	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	幅広い基礎知識を有している人	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
思考力 判断力 表現力	物事を多面的にとらえ、論理的・合理的に思考して判断することができる人	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
主体性 協働性	情報科学の切り口から真理の探究または社会的課題の解決に向けて主体的に取り組む熱意を持っている人	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	多様な価値観や新たな技術・知見を受け入れ、課題の解決に向けて協働して取り組む熱意を持っている人	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

(3) 芸術学部

芸術学部アドミッション・ポリシー

国際化や情報化の急激な進展などにより社会の急速な変化や価値観の多様化が進む中、社会に豊かさをもたらす芸術の社会的役割はますますその重要性を高めています。

芸術学部では、創造性に富んだ創作を行うための専門的な知識と確かな技術を備え、文化芸術の創造及び発展に貢献できる先見性、創造性及び独創性に富んだ人材の育成を教育理念としています。

そのため、芸術学部では、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ、次のような多様な人物を求めています。

【求める人物像】

（関心・意欲）

芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人

（知識・技能）

高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人

（思考力・判断力・表現力）

関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人

（主体性・協働性）

創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人

アドミッション・ポリシー【求める人物像】を踏まえ、各試験区分において、特に求める人物像、重点評価項目、配点

【美術学科日本画専攻】

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】	細目	試験 区分	一般選抜（前期） 【2月】 (8名) 試験日程:3日(19時間)			総合型選抜 【11月】 (2名) 試験日程:2日					外国人留学生 選抜 【2月】 (若干名)				
		特に 求める 人物 像	絵画創作において基礎となる描写力・思考力・構成力と色彩感覚をバランスよく備え、客観的な観察力よって的確な表現のできる人			絵画表現における基礎的描写力と豊かな感性を有し、作品制作に強い意志と積極性を持って臨むことのできる人					日本画分野で学ぶために必要な日本語能力があり、絵画表現の基礎力を備えた創作意欲のある外国人留学生				
		全体 1800			全体 1000					全体 1800					
			大学 入学 共通 テスト	鉛筆 素描 (7h)	着彩 写生 (12h)	募集人員の4倍を超える出願があった場合、提出書類による事前選考に合格した者に本選考を課す						日本 留学 試験	実技 検査	面接	
			600	450	750	自己 推薦書	調査書	作品 ファイル	小論文	着彩 写生 (8h)	面接 (プレゼンテーションを含む、平面作品3点(持参))	400	1200	200	
関心 意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人					◎	○			○	◎	○			○
知識 技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	○	○			○		○			○	○	○		
	専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人	◎		◎	◎	◎		◎		◎	◎	◎		◎	
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人	◎	○	◎	◎	○	○		○	○	○	◎		◎	○
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人					○	○	○			○	○			○

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

【美術学科油絵専攻】

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】		試験 区分	一般選抜（前期） 【2月】 (15名) 試験日程:3日(19時間)			総合型選抜 【11月】 (5名) 試験日程:2日						外国人留学生 選抜 【2月】 (若干名)			
			特に 求める 人物 像	油絵分野における基本的な観察力・描写力・構成力・発想力・思考力とともに、創造力を備えた人			油絵分野に対して高い関心と意欲を持ち、目的意識が高く、創造力を備え普段から創作に関わる人						油絵分野で学ぶのに必要な日本語能力があり、絵画表現の基礎力を備えた創作意欲のある外国人留学生		
				全体 1800			全体 1000						全体 1800		
細目		大学 入学 共通 テスト	素描 (7h)	油彩 (12h)	募集人員の3倍を超える出願があった場合、提出書類による事前選考に合格した者に本選考を課す						日本 留学 試験	実 技 検 査	面 接		
					提出書類			本選考							
					自己 推薦書	調査書	作品 ファイル	課題 作品 (写真)	小論 文	人物 デッサ ン (6h)	面接 (プレゼン テーション を含む、課 題作品 (持参))				
		600	600	600	100	150	150	100	300	200	400	1200	200		
関心 意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人				◎	○	◎	○			◎	○		○	
知識 技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	○	○		○	○					○	○	○		
	専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人	◎		◎	◎		○	○		◎		◎	◎		
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人	◎	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	◎	○	
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人				○	○	○				○	○		○	

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

【美術学科彫刻専攻】

アドミッションポリシー内 【求める人物像】		試験区分	一般選抜(後期) 【3月】 (7名) 試験日程:2日(14時間)			総合型選抜 【11月】 (3名) 試験日程:1日						外国人留学生 選抜 【3月】 (若干名)				
			特に求める人物像		彫刻分野に対する高い関心と意欲の現れとして、基礎的な素描力(見る力・描く力)と造形力を身につけている人			彫刻に関心があり、普段から創作に関わる人 さらに自らの思考や意思を作品や言葉によって積極的に伝えようとする人 素描力(見る力・描く力)と造形的な感性を備えている人						彫刻分野で学ぶのに必要な日本語能力があり、基礎的な造形力を備えた創作意欲のある外国人留学生		
			細目		全体 1800			全体 1000						全体 1800		
		大学入学共通テスト			募集人員の4倍を超える出願があった場合、提出書類による事前選考に合格した者に本選考を課す						日本留学試験					
					提出書類			本選考								
					自己推薦書	調査書	作品ファイル	課題作品(写真)	小論文	静物デッサン(2h)	面接(プレゼンテーションを含む)					
					100	200	200	100	150	250						
					400	1200	200									
関心意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人					◎	○		◎	○		◎	○			
知識技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	○	○		○		○				○	○				
	専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人	◎		◎	◎	○		○	○		◎	◎				
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人	○	○	○	○	◎	○		○	◎	◎	○		○		
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人					○	○	○			○	○		○		

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。

【デザイン工芸学科】

アドミッション ポリシー内 【求める人物像】	細目	試験区分	一般選抜（前期） 【2月】 (22名) 試験日程:1日 (7時間)	一般選抜（後期） 【3月】 (10名) 試験日程:1日 (7時間)	総合型選抜 【11月】 (8名) 試験日程:1日	外国人留学生 選抜 【2月】 (若干名)								
		特に求める人物像	デザイン工芸分野で学ぶ上で必要となる基礎的な観察力・描写力、及び優れた構成力・発想力・思考力を有する人	デザイン工芸分野で学ぶ上で必要となる色彩感覚、もしくは形体感覚のいずれかに特化した発想力・表現力を有する人	デザイン工芸分野に対して高い関心と意欲を持ち、目的意識が高く、創造力を備えた人	デザイン工芸分野で学ぶのに必要な日本語能力があり、基礎的な造形力を備えた創作意欲のある外国人留学生								
		全体	1800	1800	1000	1800								
		試験科目	大学入学共通テスト 600	感覚 考査 (描出) 1200	大学入学共通テスト 600	感覚 考査 (色彩 または 形体) 1200	募集人員の3倍を超える出願があった場合、提出書類による事前選考に合格した者に本選考を課す 提出書類 自己推薦書 100 調査書 作品ファイル 200 本選考 小論文 200 課題作品 300 面接 (プレゼンテーションを含む) 200 日本留学試験 400 実技検査 1200 面接 200							
関心 意欲	芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人					◎	○	○	◎	○				
知識 技能	高等学校等で修得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人	◎	○	◎	○	◎	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
	基本的な知識、教養を有している人 専門分野で学ぶ上で必要な、基礎的な造形力、感性を有している人	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
思考力 判断力 表現力	関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人	◎	○	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
主体性 協働性	創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人					◎	○	○	○	○	◎	○	○	○

※ 表中の◎、○が重点評価項目である。◎がより重視する評価項目である。